

本部 MA2026-023
2026 年 10 月 27 日

「信号機のない横断歩道」一時停止率、初の 6 割超え ～依然として約 4 割の車両は停止せず～

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 坂口正芳）は、2026 年 5 月 11 日（月）から 6 月 30 日（火）にかけて実施した「信号機のない横断歩道での歩行者横断時における一時停止状況全国調査」の結果を公開しました。調査の結果、一時停止率は調査開始以来最も高い 61.1%となりました。

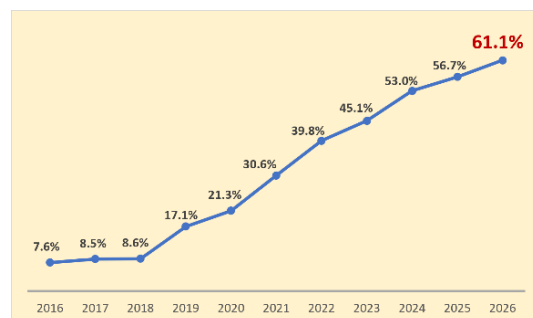
■過去最高を更新するも、依然として約 4 割の車両は停止せず

本調査は、全国 94 カ所の信号機が設置されていない横断歩道において、通過する車両 5,998 台を対象に実施しました。

その結果、歩行者が横断しようとしている場面で一時停止した車両は 3,662 台（61.1%）となり、昨年に引き続き過去最高の停止率を記録しました。

停止率は前年の調査時と比べて 4.4 ポイント増加し、37 都道府県で上昇しました。調査開始時の 2016 年（7.6%）と比べると約 8 倍となる 61.1%を記録しています。

一方で、依然として約 4 割の車両が停止しておらず、歩行者優先の徹底に向けた課題も浮き彫りとなりました。



全国一時停止率の経年推移（2016 年～2026 年）

調査方法や各都道府県の調査結果については以下のウェブサイトでご確認ください。

信号機のない横断歩道実態調査 2026(全国調査)

▶<https://jaf.link/4zZXoH0>

※調査場所は各都道府県内 2 カ所ずつであり、市町村すべての道路で同様の数値（傾向）とは限りません。



■横断歩道は歩行者優先。ドライバーも歩行者も安全確認を

道路交通法では、「横断歩道における歩行者優先」が定められています。本来、車両が横断歩道を通過する際に、横断しようとする歩行者がいる場合は、横断歩道の直前で一時停止し、通行を妨げないようにしなければなりません。

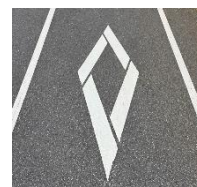
また、横断しようとする歩行者がいないことが明らかな場合を除き、横断歩道の手前で停止できるようあらかじめ速度を落とすこともドライバーの責務です。

一方、歩行者も、横断歩道を渡る時はドライバーにその意思を伝えるとともに、無理な横断をしないなど、お互いが安全を意識して行動することが大切です。

横断歩道での追越し・追抜きは禁止されています

前方を走行する車両が横断歩道の手前で一時停止している場合、歩行者の横断を優先している可能性があります。道路交通法では、横断歩道の手前 30m 以内では前方の車両を追越しや追抜きをしてはいけなく定められています。

横断歩道の手前には右写真（例）のような道路標識や道路標示がありますので注意して運転しましょう。



JAF は今後も、交通事故防止・交通安全啓発活動を積極的に進め、安全で安心な交通社会の実現を目指してまいります。

一般社団法人 日本自動車連盟 広報課

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912 Mail : koho@o3.jaf.or.jp URL : <https://jaf.or.jp/>

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館

メディア専用お問い合わせフォーム（右記二次元コード） <https://jaf.or.jp/media>

